

2025 年 3 月 吉日

保護者各位

北海道科学大学  
学生支援センター長 佐藤 隆司**自動車通学と社会のルールについて（お願い）**

謹啓早春の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度はお子さまのご入学を心からお祝い申し上げます。

さて、車社会といわれて久しく、学生生活の中で自動車を使用する機会も増加の一途をたどっております。本学では学生の通学の利便性を考慮し自動車による通学を車輛登録することにより許可しています。

また、交通事故は加害者、被害者を問わず悲惨な状況が発生します。志半ばで勉学を断念することのないように、本学では積極的に啓発活動を行っておりますが、ご家庭におかれましても常に安全運転を心がけ、助手席・後部座席の同乗者は必ずシートベルトを着用すること、スピードの出し過ぎや無理な追い越し等の無謀運転、飲酒運転、飲酒運転ほう助（飲酒を勧める、酒類の提供、飲酒をしながら運転させる、その車に同乗する車両の提供）は絶対にしないこと。特に、スピードを抑え、車間距離は十分に保つこと等、安全運転に対する注意喚起をお願い申し上げます。

親元を離れて大学周辺のアパート等で「ひとり暮らし」をしている学生の生活マナーに関する指摘が大学に寄せられています。大学では、ゴミ出しに関するルールの遵守、迷惑（路上）駐車禁止および深夜の騒音防止等について、ガイダンス等で学生に指導しておりますが、「自分ひとりぐらい」という安易な行動から、これらのマナー違反が指摘されています。

昨今、闇バイトや違法薬物・危険ドラッグ、飲酒事故や暴力事件等に関わり、若くして人生の道を踏み外す事案が全国的に多々見受けられます。その他にも万引や他人の自転車を盗んで乗り捨てる、自転車を人にぶつけてもそのまま立ち去る、SNS 等における心ない書込みやプライバシーを無視した画像を投稿する（人権侵害等の違法行為）など、事の大小に関わらず、これらに手を染めることは断じて許されません。「つい、うっかり」「これくらいは」「面白半分」といった安易な動機は社会では通用しません。

学生であることに甘えることなく社会の構成員であり、社会のルールを守る義務と責任があることを、今一度、ご家庭においても話題に取り上げていただき、ご指導くださいますようお願いいたします。

最後に、2025 年度が健康で実り多い有意義な年となりますよう念願しております。

敬具